

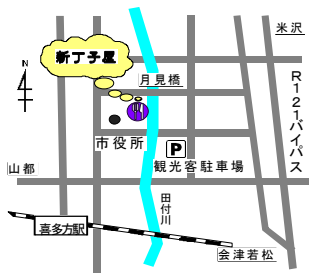


# 割烹 新丁子屋

〒966-0813 喜多方市字小田付道下 7099-3  
新丁子屋 TEL 22-0218 FAX 21-1508

## 三密を避けた 会食の提案

新しい生活環境での  
「三密を避けた飲食店営業」の為に  
できる限りの感染予防対策をとります



大広間 64畳



新丁子屋HP



中広間 42畳



小部屋 20畳



小部屋 20畳



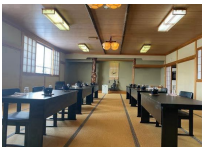
ホール 45坪



大広間 64畳



小部屋 20畳



中広間 42畳

当店は、喜多方の中心を流れる田付川の土手沿いにあり **すべての部屋が窓を開けると 爽やかな川風が吹き込み 換気にも優れています。** 三密を防ぐために、広めの座敷テーブル30卓 導入しましたので、コロナが落ち着けば60人までの会食ができます。 また、客室すべてが独立した部屋になっているので 知らないお客様からの感染の危険性が少ないだけでなく、**客室が広いので 対面のお客様とは 3Mは離れますので 飛沫感染の危険性も、非常に低い**です。 各部屋には、「非接触型体温計」や「消毒用アルコール」も設置しています。 スマホを利用した「感染連絡メール」サービスもあります。 コロナ感染予防の為、奈良県立医大や藤田医科大学の研究で 話題になっている最新式のオゾン消毒器も 導入しました。 お店の座敷見学も できますので 気軽にお申し出下さい。 **新型コロナウイルス感染予防には、「三密を避ける事」が 大切です。**

お部屋紹介	宴会 料理	お祝い お法事	お飲み物	ランチ料理	おすすめ情報

### 感染症と共生しながらの、私たちの故郷「喜多方」での新しい会食 考えてみませんか

新型コロナウイルスの大きな特徴は、若い人は無症状感染が多く ほとんど重傷化しないという事です。インフルエンザと違って 密になりやすい都会型の病気で 過疎地の田舎では 感染者が少ないという事です。今、5人以上の会食は危険だと 盛んに注意喚起されていますが それは単に、対処療法にすぎません。都会では、どんなに頑張っても「三密」を避ける事はできません。それで、感染者が増え続けています。という事は、有効なワクチンが出来て 集団免疫を獲得する方法しか 感染流行を止める手段がありません。田舎は、「三密のない過疎地」「顔見知りの住民」ですから、都会と違った防御策が きっとあるはず。医療崩壊は、二類指定感染症のしほりを解かない限り 看護師さんの負担が 減りませんからなりません。

**田舎における最大の新型コロナウイルスの対策は、感染にこだわって ギスギスした人間関係を作ることなく 会津人らしく 他人に気配りしながら、一人一人が普通に 三密の場所では マスク生活することです。**

**感染症は、飲食店が いくら対策しても「感染したお客様」が 来店すれば 防げません。**

**お客様が、感染地域に行った時は 注意する、体調が悪いときは 会食しない勇気が 大切です。**

**みんなで、都会と違った「田舎らしい感染症対策」あせらず考えて 実行してみませんか？**